



神奈川県

県土整備部都市計画課

かながわ都市マスタープラン

地域の個性を伸ばし、やすらぎと活力を感じる都市 かながわ

平成 19 年 10 月改定

県民の皆様へ



県では、21世紀初頭（2015年）を展望し、望ましい県土・都市像と都市づくりの基本方向を示した「かながわ都市マスタープラン」に基づき、都市政策の総合的な展開を図ってまいりました。

しかし、都市を取り巻く社会環境は今、大きく変わりつつあります。少子高齢化の進行と人口減少社会の到来に伴う都市の空洞化や地域コミュニティの機能低下といった課題が顕在化する一方で、切迫性が指摘されている大規模地震や地球規模での環境問題への対応、さらには首都圏の国際競争力の強化など、広域的に取り組まなければならない課題も山積しています。

こうした状況を踏まえ、県では、このたび「かながわ都市マスタープラン」を改定いたしました。そして、将来（2025年）を展望した県土・都市像を「地域の個性を伸ばし、やすらぎと活力を感じる都市 かながわ」とし、県民一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる、活動の場にふさわしい機能と空間を備えた県土・都市づくりを目指してまいります。

このプランでは、「環境共生」と「自立と連携」の二つの方向性に沿って、さらなる都市機能の集積やより積極的な自然環境の保全など、メリハリある土地利用を図るとともに、地域の特性を生かした個性的で自立的な都市の発展と、県内外や都市間相互における人、モノ、情報のネットワークを充実・強化することにより、環境と共生した安全で活力ある県土を形成していくこととしています。

今後、新たな投資余力の低下が見込まれる中で、選択と集中による社会資本整備や既存ストックの有効活用といった考え方にに基づき、総合的かつ計画的な都市づくりを展開し、県民やNPO、企業の皆様、市町村の方々との協働の下、次の世代に引き継ぐことのできる持続可能な県土・都市づくりを進めてまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成19年10月

神奈川県知事 松沢成文